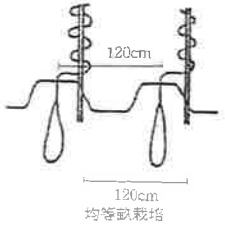
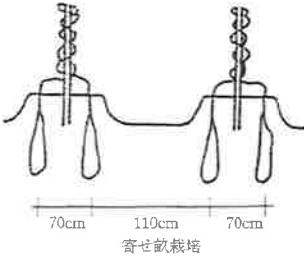


品 種	増 産		青 果		備 考
	十勝1号	十勝1号	十勝1号	十勝1号	
は 種 量 (10a当り)	230~240kg 1片50g	600~700kg 1片120~150g	マルチ栽培では 1片100~120g (青果)		
キュアリング	4月10日~20日	4月10日~20日	20℃で10日間		
催 芽	4月26日~5月10日	4月25日~5月10日	25℃で15日間		
植 付 期	5月15日~25日	5月15日~25日	芽は斜め下の位置		
収 穫 期	秋 産	10月25日~	10月25日~11月10日		
	春 産	—	4月20日~5月1日		
養 分 量 kg	N	18 (18)	18 (18)		() はマルチ栽培 基肥は全面施用
	P	30 (30)	30 (30)		
	K	18 (18)	18 (18)		
追 肥	N	6 (0)	6 (0)		気象や生育状況で判断し7月下旬まで2回に分けて施用
	K	6 (0)	6 (0)		
株 植 密 度 (10a当り株数)	(70+10)×21cm 120×15cm	(70+10)×24cm 120×20cm	マルチ栽培では株間を狭くする (青果)		
基 産 収 量 (10a当り)	3,000kg	3,500kg			



生育特性

生育温度は17~25℃。萌芽には10℃以上、その後の生育に必要な地温は17℃とされている。

種子いも準備

- ・種子消毒はベンレート・チウラム水和剤の100倍液に10分間、丸ごと浸漬する。
- ・切り口のカビを防ぐため、消石灰とチウラムを20:1に混合し、切り口に粉衣する。

キュアリング

- ・切り口をコルク化させ、切り口からの腐敗を防ぐ。
- ・10℃以下では、いくら日数をかけてもコルク化せず、カビの原因となる。
- ・高温にしすぎると、種子いもが収縮したり、亀裂が入るので注意する。
- ・20℃の乾燥した場所で直射日光を避け、行う。

催 芽

- ・20~25℃で15日位で芽出する。
- ・芽の大きさは大豆粒大とし、大きくなりすぎないように、催芽開始時期、温度に注意する。

順 化

- ・不萌芽いも発生予防のため順化を行う。
- ・植付前3~4日程度、倉庫などに種子いもを移動させて、15~16℃、湿度70~80%、弱光の条件にする。芽が乾燥しないよう、青テントなどを被覆する。

植 え 付 け

- ・地温が10℃になってから植え付けする。
- ・芽を1つ残し、芽の位置を斜め下向きに植える。

支 柱 立 て

- ・ネット支柱は4~5mおきに立てる。
- ・収量性は、正目ネット>六角ネット>ひし目ネットとなっている。

収 穫

- ・充実したいもを収穫するため、莖葉が黄変してからつる切りを行う (10月下旬)。つる切り後、いもの表皮が固くなったのを確認してから収穫する (つる切り後7日位)。

病 害 虫

- ・主な害虫はウイルス病を媒介するアブラムシ類で、ばれいしょに寄生するジャガイモヒゲナガアブラムシ、モモアカアブラムシ、ワタアブラムシなどが主体と思われる。